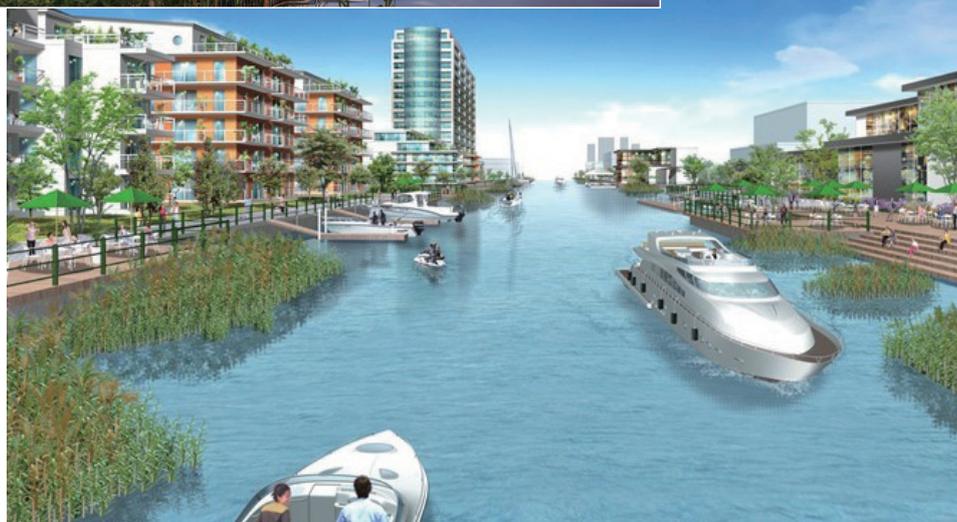


# 国土造りプロジェクト構想 6

～安全・快適で豊かな国土造りのために～

## 【中川運河水辺地区再生構想】

～静謐な水辺空間を持つ気品と賑わいの新基軸に～



2022年3月

一般社団法人 日本プロジェクト産業協議会 (JAPIC)

国土・未来プロジェクト研究会

## まえがき

狭隘かつ急峻な国土しか持たないこの国を、世界でも有数の高い経済活動を営む国へと創り上げた要因の一つは、国を挙げての国土基盤づくりの事業であった。

戦いで荒廃した国土の復興からはじまったこの70年余を見ても、空港、港湾や高速道路、新幹線のような大規模交通施設をはじめ、各種都市施設や防災施設、産業施設など大規模施設から、国民の日常生活を支える各種施設に至るまで、膨大な社会資本がこの間に蓄積された。

その間、国民は国づくり、街づくりについて多くの夢や意見を持ち、その実現にむけて積極的な行動を行ってきた。こうした中でいくつかの構想がつくられ、あるものは実現して現在の貴重なインフラとなって現世代に活用され、あるものは激しい議論の中で消えていった。行政の中では、多くの構想について検討がなされ、それらの実現に向けての努力は続けられ、政治やメディアはそれを支持し、時には反対に動いた。

しかし、今世紀に入る頃から、我が国社会でのこのような活動は目に見えて下火となっていった。経済の停滞と財政のひっ迫、そして国民の飽食意識や行政の守勢的姿勢などが、この国土整備への投資努力をうしろ向きにしてしまった。とくに大規模な国土基盤整備事業については、その構想を示すことに対してさえ、ネガティブな論調が示される向きが見られるほどになった。

近年の自然災害は激甚さを増している。また、経済の停滞はまたたく間に国民の所得水準を欧米のそれに大きく下廻るようにし、アジア周辺国の後じんをも拝するようになった。

長い歴史的蓄積を持つ欧米諸国はすでに充分かとさえ思われた国土のインフラをさらに改善し、より豊かな社会活動と国民生活のため、そして地域の文化振興のために、増強しつつある。

こうした現状から脱皮するために、我が国は必要とされる基盤施設を国民が再び構想し、実現に向けて努力することが必要と考える。

無論、社会が必ずしも必要としない施設に巨費を投ずる愚は避けねばならない。しかし、この国土をより安全かつ快適で豊かなものとし、そこで活動をより効率的にし活性化するための投資は、続く世代とその先の未来のために広く国民全体で構想してゆくことが必要である。

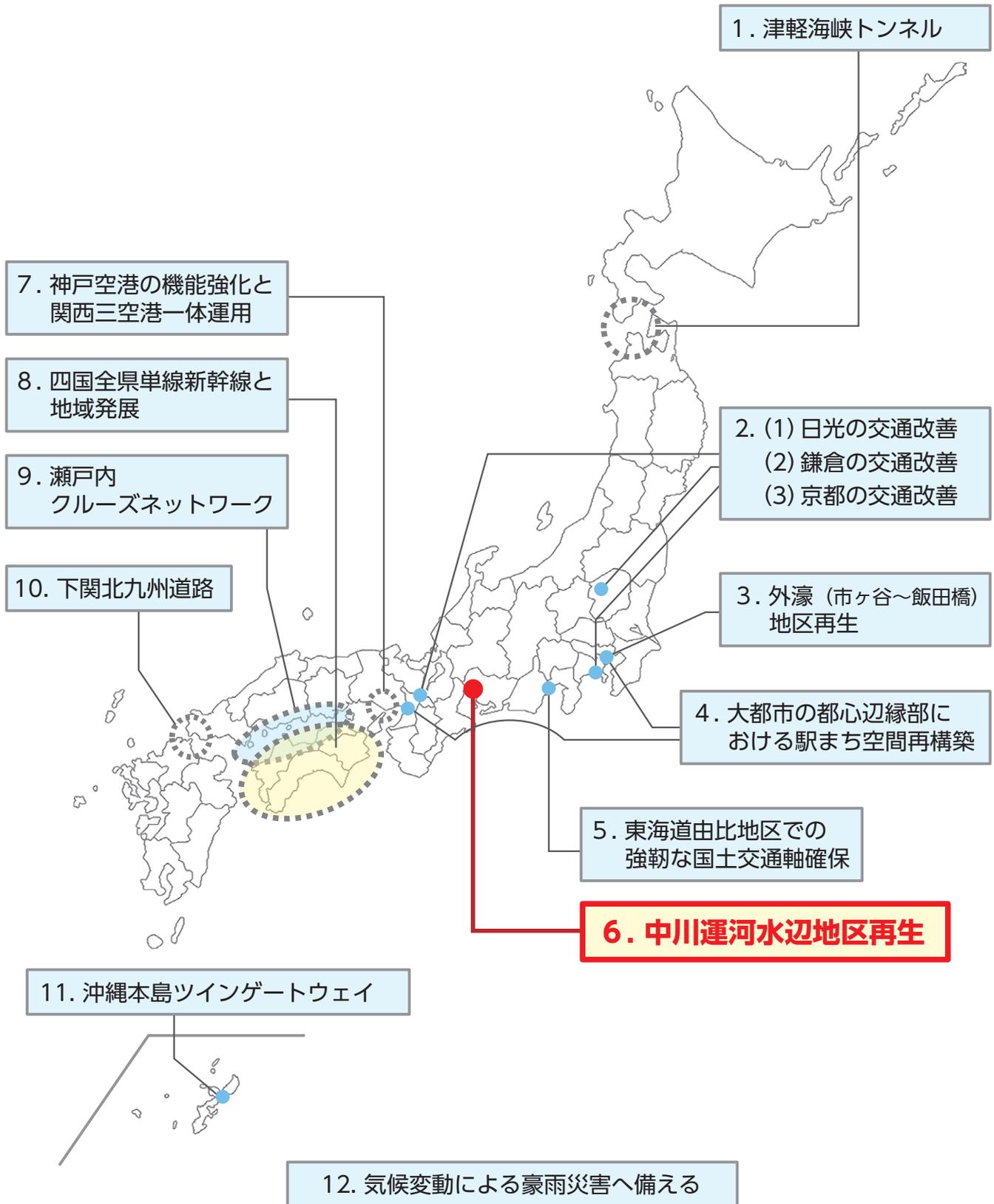
新型コロナ感染症によって多大の損傷を被った世界の各国は、今後長期間にわたり、その回復とさらにその先の発展へ向けて、激しい成長競争を進めるに違いない。そのとき、今後の発展へ向けての国土基盤への投資の多寡と適否はその国土の将来に対し支配的な影響を持つに違いない。

日本プロジェクト産業協議会（JAPIC）の構想提案書はそのような考えのもと、今後必要性が高く、かつ実現可能性も高い事業として、どのようなものが考えられるか、また、その実現にはどのような制度的（財源的）、技術的な方法があり得るかについて、JAPICを舞台に糾合した主として建設関係の中核的な専門家の未来研究会が創り上げたものである。行政や経済界の関係者をはじめとする多くの方々がそれぞれの地域での今後の新しい事業を構想するにあたって、この構想提案書を参考とされることを期待するものである

日本プロジェクト産業協議会（JAPIC）

副会長 中村 英夫

# ～国土造りプロジェクト構想（重点プロジェクト）～



# 目次

## Contents

1. 中川運河の沿革と現状 .....	1
2. 中川運河ならびに周辺利用の課題 .....	4
3. 国内外の再開発・再生事例 .....	11
4. 中川運河ならびに周辺地域再生構想 .....	18
5. 中川運河再生構想 JAPIC 案 .....	21
6. 今後の事業展開のために .....	28
7. 将来構想 .....	33
8. 世界運河会議を終えて .....	34
【中川運河水辺地区再生構想】 検討者名簿 .....	36
JAPIC 国土・未来プロジェクト研究会 委員名簿 .....	37

# 1. 中川運河の沿革と現状

## (1) 中川運河⇒名古屋駅と名古屋港を結ぶ広大な水辺（現状）



提供：名古屋港管理組合

# 1. 中川運河の沿革と現状

## (2) 閘門式運河として整備（昭和7年全線供用開始）

- ・名古屋の経済発展を支える一大輸送幹線
- ・市中心部の排水機能を受け持つ施設



# 1. 中川運河の沿革と現状

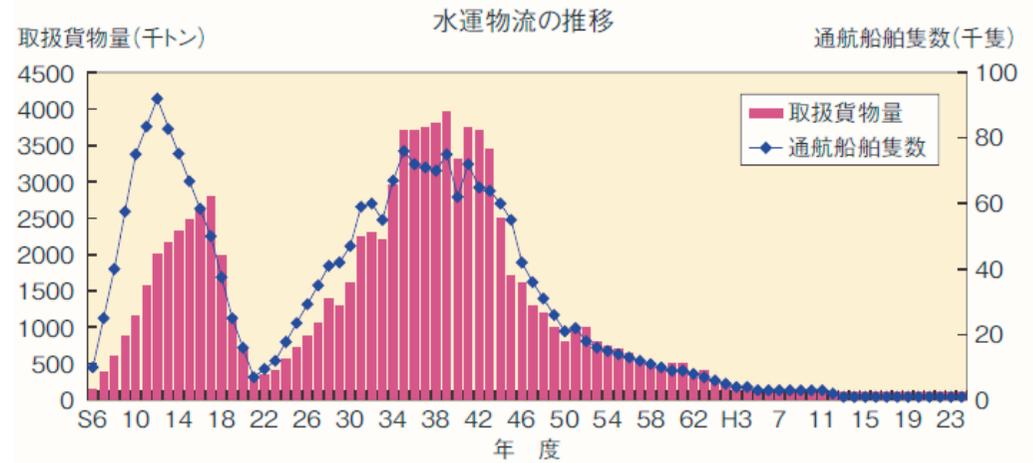
## (3) 水域利用の変化

昭和39年をピークに  
約1%まで減少

自動車輸送の進展とともに  
水運は衰退



水辺や倉庫を利用し  
文化イベントや  
水上スポーツの場  
としてわずかに利用



中川運河チャンネルアート

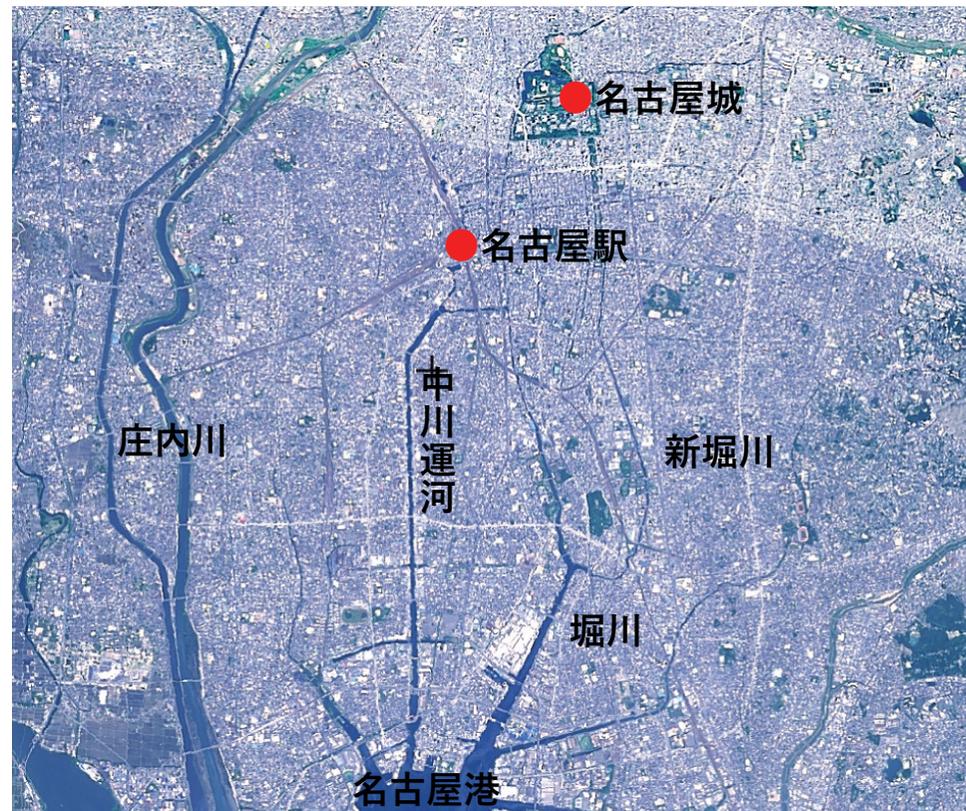


SUP (Stand Up Paddleboard)

## 2. 中川運河ならびに周辺利用の課題

### (1) 運河全景

- ・名古屋市街地には水に親しむ空間が限られている
  - ・名古屋駅を降りるとビジネスビルが立ち並ぶのみ
- ⇒ **大都市圏に隣接する中川運河の魅力的水辺空間を親しむ環境・文化が育まれていない**



出典：国土地理院図（電子国土WEB）に加筆

<https://maps.gsi.go.jp/#13/35.145389/136.880379/&base=ort&ls=ort&disp=1&vs=c1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1&d=m>

## 2. 中川運河ならびに周辺利用の課題

### (2) 水辺地区 ①全景

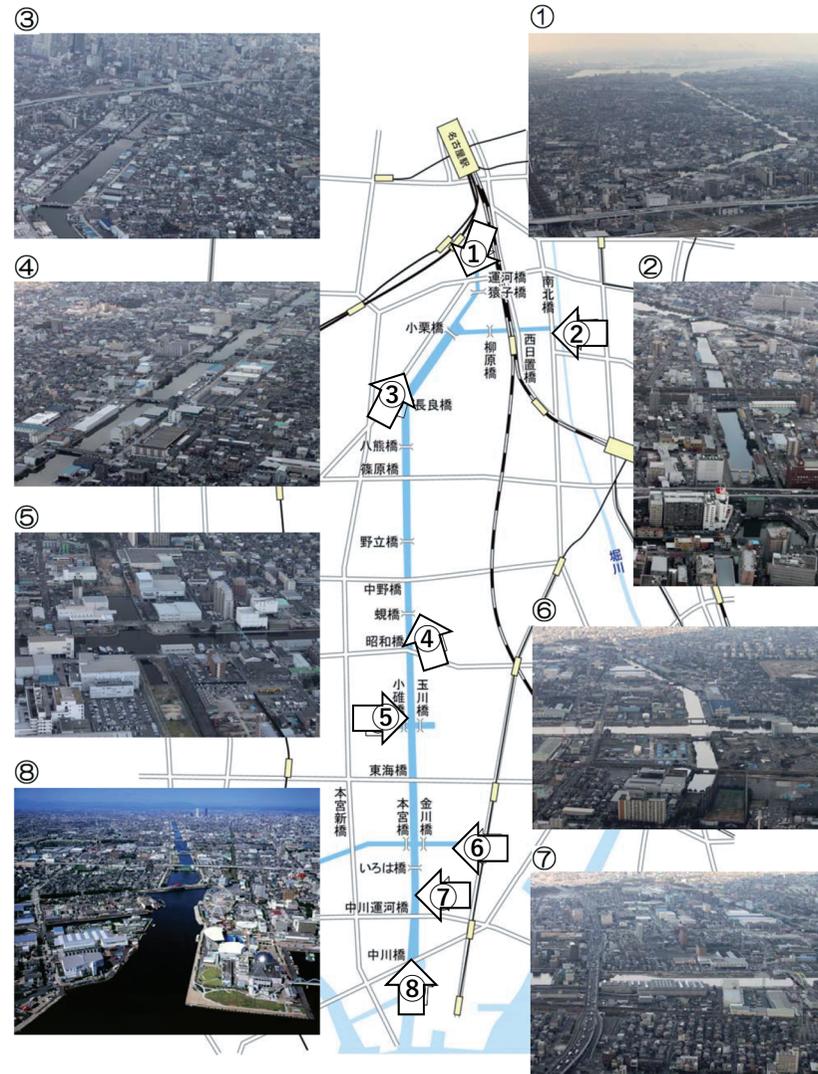
- ・ 中川運河周辺は臨港地区であり倉庫街が中心



タンカー船を主体とした水運利用



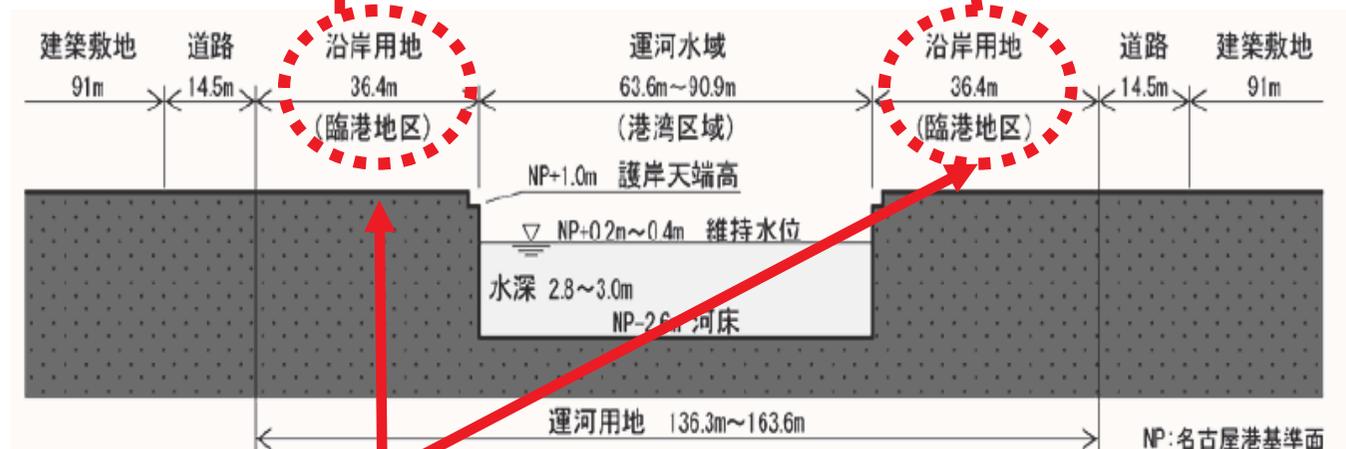
立ち並ぶ倉庫・物流関連企業



張出護岸に改修された旧護岸

## 2. 中川運河ならびに周辺利用の課題

### (2) 水辺地区 ②沿岸から隔離された水面域



臨港地区：港湾利用が前提、一部「にぎわい施設」を誘致している

## 2. 中川運河ならびに周辺利用の課題

### (3) 周辺地区（運河周辺に拠点地区が点在）



ささしまライブ24地区  
(出典：名古屋市HP)



ガーデンふ頭  
(名古屋港水族館210万人/年)  
(シートレインランド 63万人/年)  
(出典\_写真：名古屋港管理組合HP)  
(出典\_来場者：名古屋市観光客・宿泊客動向調査)



レゴランド（金城ふ頭）  
(目標値200万人/年) (出典：レゴランドHP)



出典：「中川運河再生計画」 (位置図)



松重閘門 (出典：名古屋市HP)  
(現在は水路閉鎖・堀川との結節点)



キャナルリゾート  
(出典：http://canalresort.jp/)

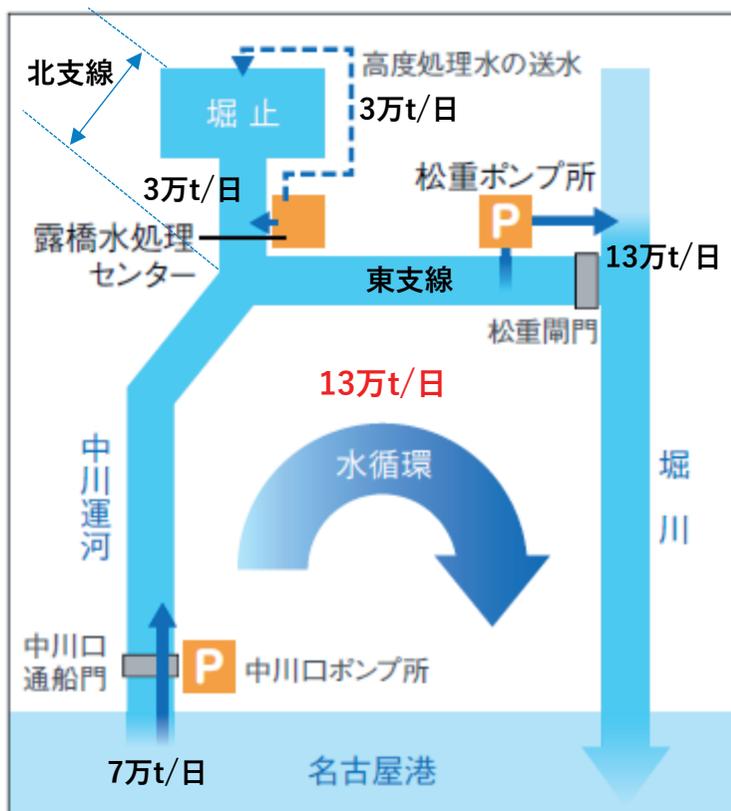


みなとアクルス  
(LaLaport 約1000万人/年)  
(出典：みなとアクルス施設案内リーフレット (2018.1))  
(来場者：ららぽーと名古屋みなとアクルスHP掲載値より試算)

## 2. 中川運河ならびに周辺利用の課題

### (4) 閉鎖性水域における水質改善対策

- ・ 閉鎖性水域の水質改善に向けた水循環を図る  
中川口ポンプ所→松重ポンプ所→堀川へ放流  
露橋水処理センターから高度処理水を中川運河に放流
- ・ 北支線や東支線(運河北側)；快適な水環境とは言えない状況



## 2. 中川運河ならびに周辺利用の課題

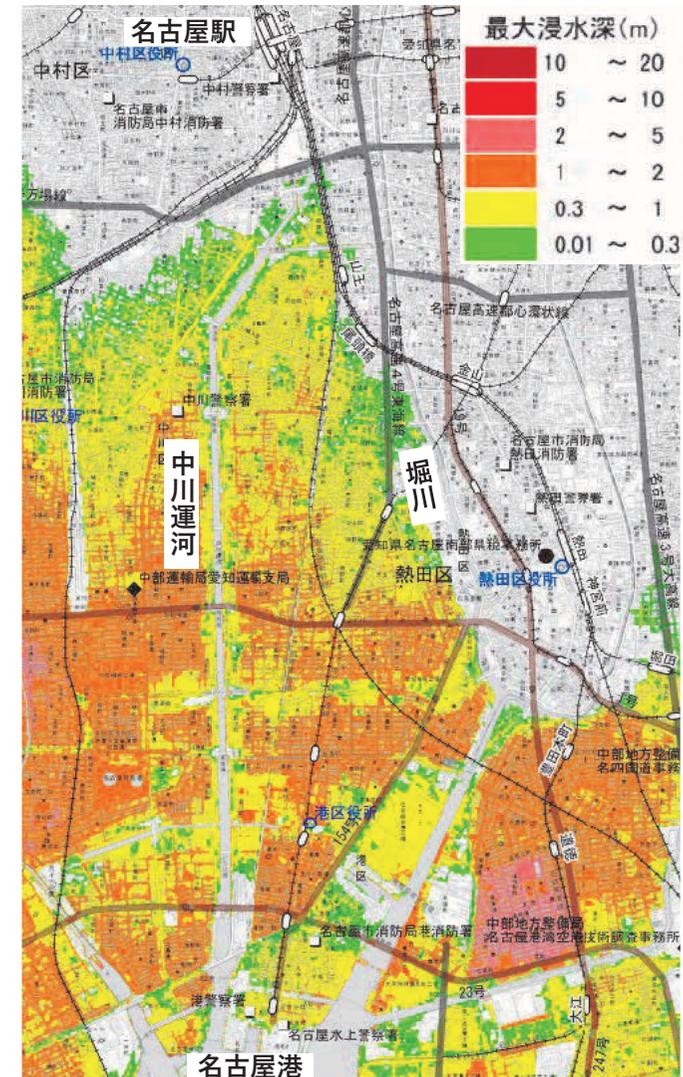
### (5) 高潮等防災対策

#### 想定最大クラスの津波(L2津波)による浸水想定

- 東日本大震災以降、各地の津波想定は見直しが実施された。
- 名古屋においても、東海・東南海・南海トラフ地震（三連動）による最大クラスの津波（L2津波：数百年～千年に一度）が発生した場合、名古屋港周辺の防潮壁等を越流し、津波は遡上し、中川運河周辺（1～2m）も含め、広範囲に浸水被害が発生すると予想されている。

#### 愛知県津波浸水想定（L2津波）

出典：愛知県HP



## 2. 中川運河ならびに周辺利用の課題

### (6) 防災対策\_名古屋港の高潮・津波対策

- 過去に甚大な被害が発生した伊勢湾台風規模の高潮被害を防ぐために下図に示すように海岸保全施設（防潮堤等）が整備されている。
- 地震・津波対策として、液状化対策を順次進めている。



※今後十年以内に着手及び着手検討する箇所

出典：名古屋港管理組合HP



出典：「もっと知りたい中川運河」

### 3. 国内外の再開発・再生事例

#### (1) 旧運河地区：ゆとりある居住環境（海外事例）



スウェーデン・マルメ

提供：三井不動産(株)

### 3. 国内外の再開発・再生事例

#### (2) 旧運河地区：集客・憩い（海外事例）

沿岸空間の開放



オランダ・アムステルダム

衰退した倉庫街を歴史・文化都市に再生  
～水辺アクセスの改善～



イギリス・リーズ エアー川



ドイツ・ベルリン ホルツマルクト



ドイツ・リューベック トラヴェ川

提供：三井不動産(株)（左上下）、水辺デザインの多様性：JAPIC 川口英俊（右上下）

### 3. 国内外の再開発・再生事例

#### (3) 小樽運河：集客・憩い（国内事例）



建設当時の運河と  
石造倉庫群

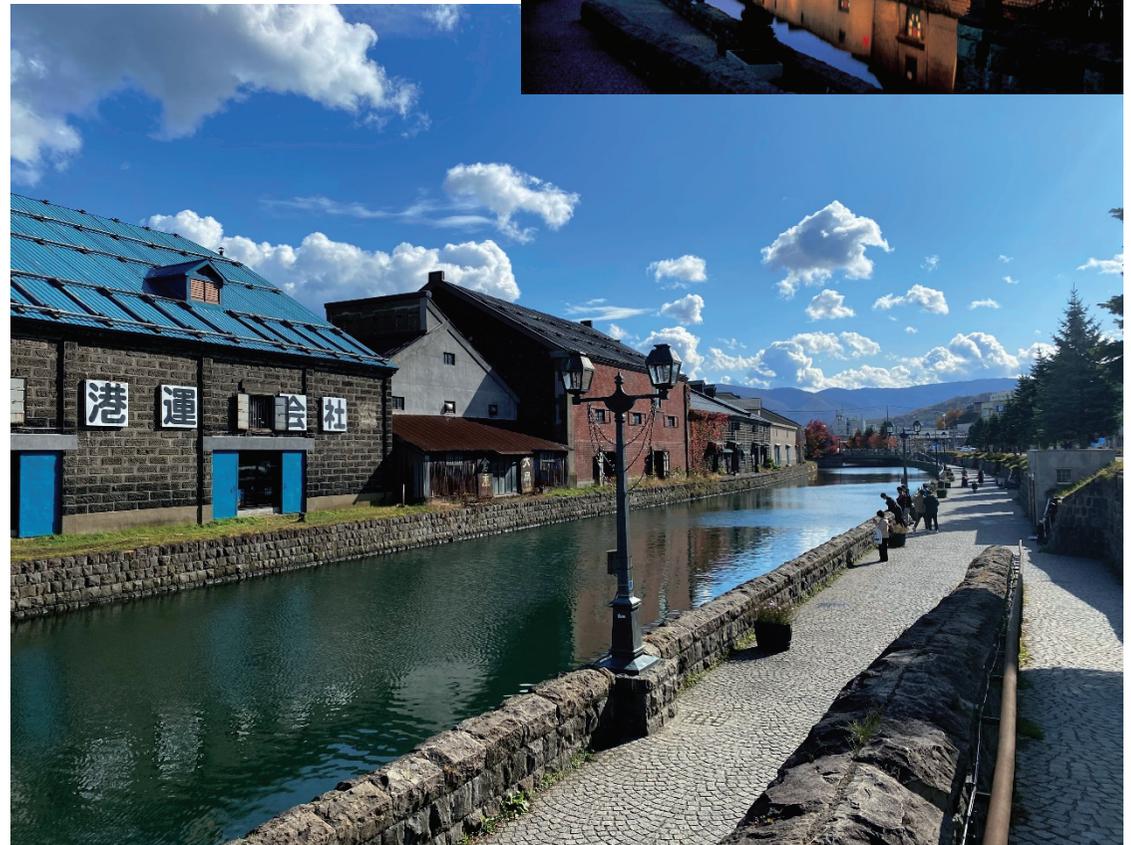
ガス灯の  
ライトアップ



- 大正12年完成・全長1140m
- 昭和61年、埋立てを巡る論争の末に一部埋立、道路・散策路街園が整備

#### 【環境改善の試行的取組】

- 下水道の整備
- エアレーション等の導入
- クリーンプロジェクト（清掃活動）等々



出典：「Consultant vol.282」（小樽市提供；左上）、小樽市HP（右上）、JAPIC資料（右下）

### 3. 国内外の再開発・再生事例

#### (4) 富岩運河：集客・憩い（国内事例）

舟運の役割を終えたどぶ川が  
市民の憩いの場に変遷



出典：富岩運河環水公園HP（写真）、環水公園パンフレット（位置図）

### 3. 国内外の再開発・再生事例

#### (5) 北十間川：集客・憩い（国内事例）

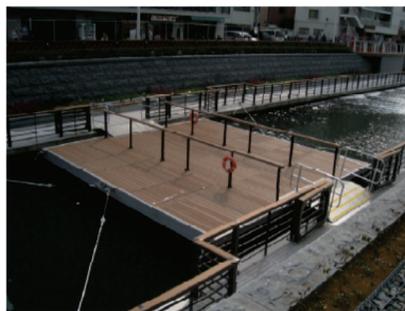
- 荒川水系江東内部河川で、荒川・隅田川の合流点に水門・樋門が設置されている閉鎖性河川
- 東京スカイツリー完成に伴い、水辺を活かした街づくりと観光を推進



護岸・北十間橋からみた東京スカイツリー（北十間川）



直接ばっ気浄化施設



固定式木炭浄化施設



出典：東京都建設局HP「江東内部河川整備計画」（写真左・位置図）  
墨田区HP「おしなり公園」（写真：中上下）

### 3. 国内外の再開発・再生事例

#### (6) 防災機能による水辺地区の利活用展開（海外事例）

ハーフェンシティでは、1年に数度浸水する環境と水辺空間との共存を目指した整備



出典：<http://www.elfferding.de/jizoku/hafencity.html>に追記（右）  
提供：中部大学 林良嗣卓越教授（左）

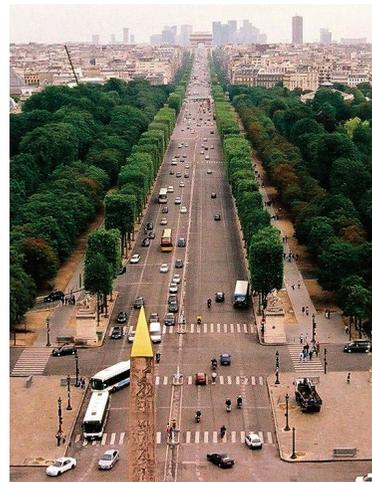
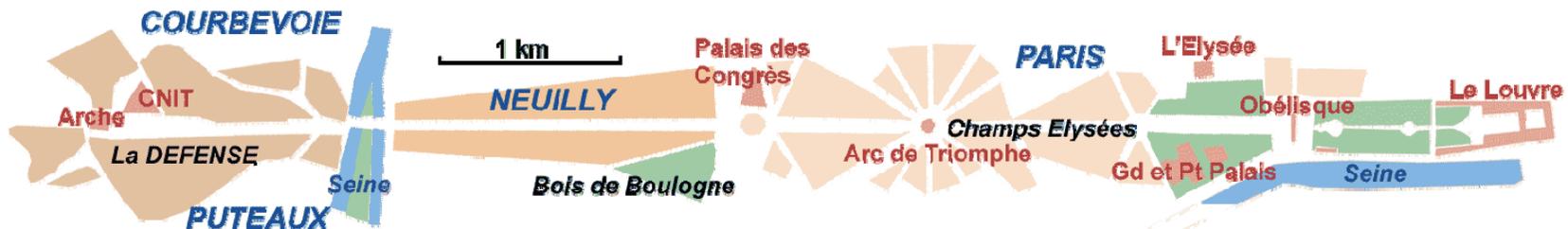


### 3. 国内外の再開発・再生事例

#### (7) 新歴史軸の形成 (8km) : パリ

ラ・デファンス新凱旋門～凱旋門～シャンゼリゼ～ルーブル宮 (博物館)

→ 歴史的背景をなぞった新たな基軸形成が街の再生の重要な役割に



出典 <https://ja.wikipedia.org/wiki>

上段：軸平面図 ファイル名：Paris Axe Historique 作者名：Pline

下段左：パブリックドメイン (Axe-historique\_depuis\_l'Arc\_de\_Triomphe,\_Paris\_2006.jpg)

下段中：ファイル名：Paris, Champs-Élysées 撮影者：Andrzej Barabasz (Chepry)

下段右：ファイル名：Axe-magistral 撮影者：Pline

## 4. 中川運河ならびに周辺地域再生構想

### (1) 既往計画の反映：地元経済界からの提言／行政の再生計画

#### これからの中川運河のあり方 (H21.1)

(名古屋商工会議所)

【運河再生の方向性について (提言)】

< 中川運河再生のコンセプト >

「風と水と緑の環境都市軸」

- ・沿線の緑化 ・プロムナード整備
- ・「運河の道」及び周辺環境整備

堀止ゾーン「港へのいざないゾーン」

中流ゾーン「運河の歴史保存ゾーン」

中川口ゾーン「運河の体験・学習ゾーン」

さらなる水質の浄化に努める  
高度処理水を活用した透明度の高い水域  
三川浄化につながる水循環のあり方

都市防災機能の向上

多くの市民等が参加出来る枠組み

#### 中川運河再生計画 (H24.10)

(名古屋市・名古屋港管理組合)

【概ね20年先を見据えた再生方針】

《交流・創造》人と人、人と運河をつなぎます

《環境》水・緑・生き物に親しめる  
水辺空間を形成します

《産業》モノづくりの未来を支え続けます

《防災》まちの安全・安心を支え続けます

【ゾーンごとの再生イメージ】

にぎわいゾーン

港と文化を感じる都心のオアシス

モノづくり産業ゾーン

モノづくりを支えるキャナルストリート

レクリエーションゾーン

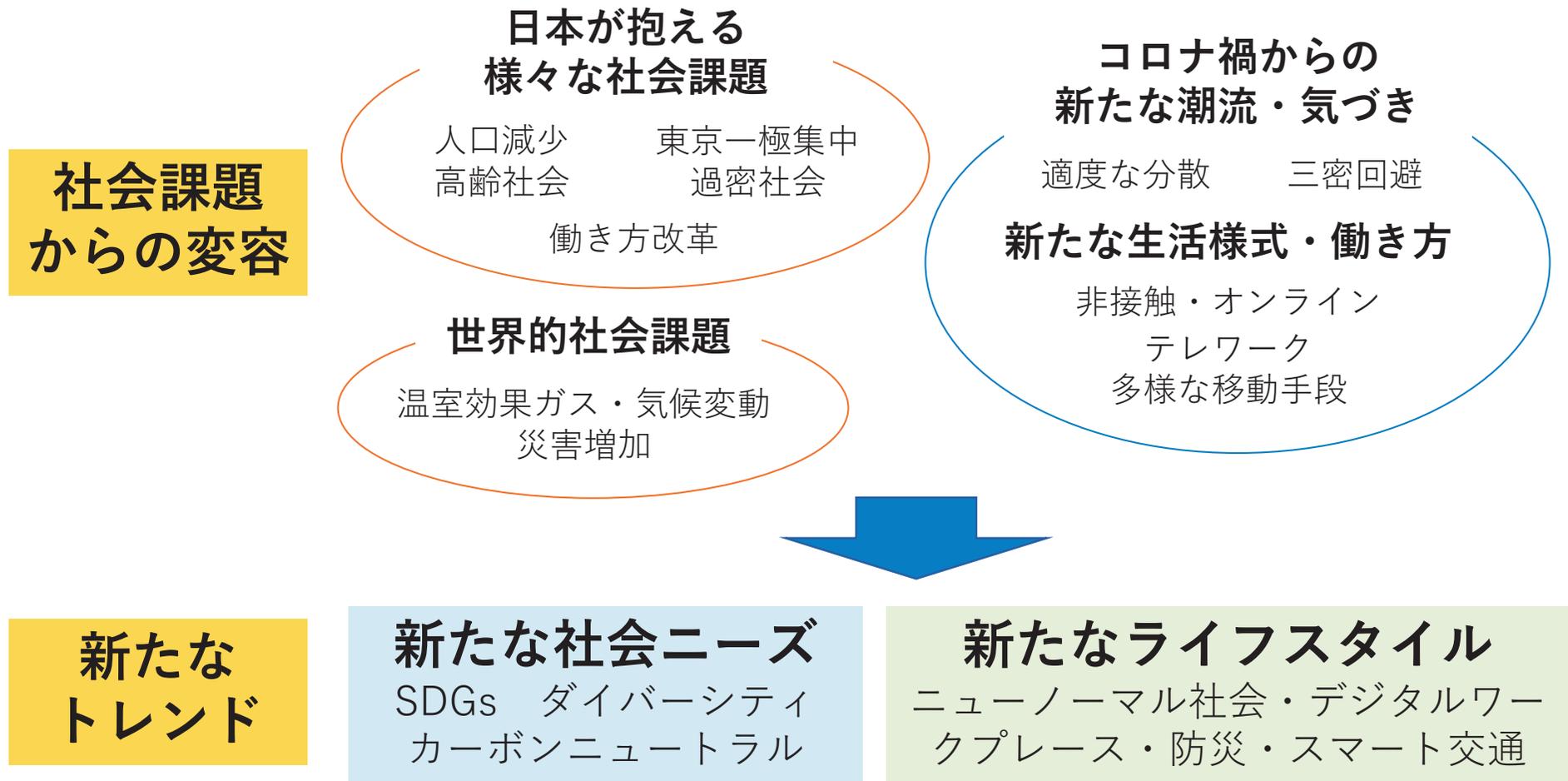
水と緑のレクリエーションフィールド

再生計画を踏まえ、名古屋駅～名古屋港を結ぶ  
地理的特性を活かした新たな価値創造できる再生構想の提案

## 4. 中川運河ならびに周辺地域再生構想

### (2) 再生構想立案に向けた社会変容への対応

#### 中川運河再生構想への新たなトレンドの反映

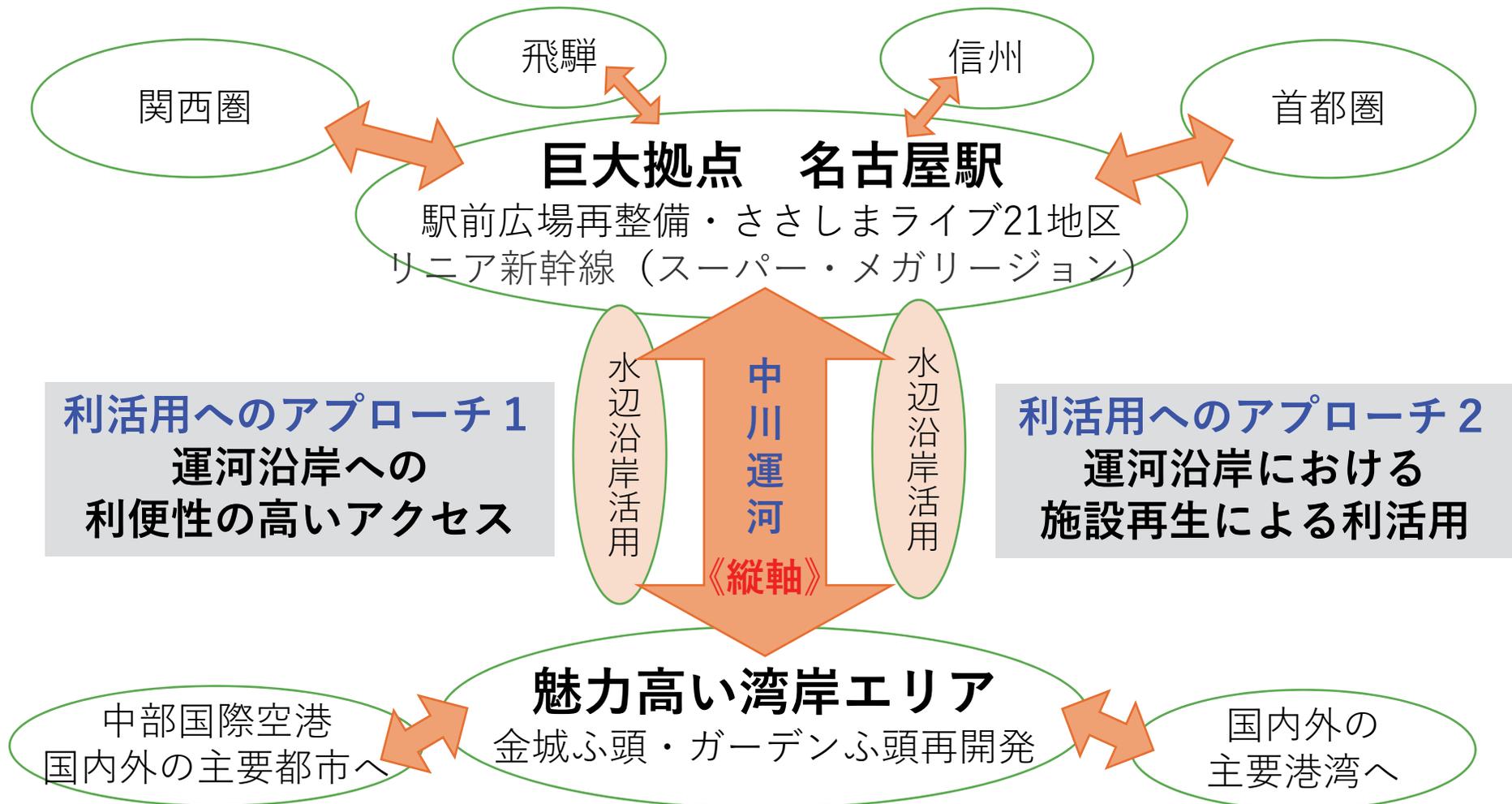


## 4. 中川運河ならびに周辺地域再生構想

### (3) 再生構想立案に向けた地理的特性の利活用

#### 名古屋駅～名古屋港を一直線で結ぶ縦軸空間の活用

大都市圏・自然景観域に繋がる巨大拠点名古屋駅に隣接する地理空間の最大利用



## 5. 中川運河再生構想JAPIC案

### (1) 中川運河再生構想のスローガン

新たなトレンドの未来志向型地域再生  
～巨大拠点名古屋駅隣接に  
中川運河水辺空間による新基軸形成～



グリーンリカバリー・ポストコロナ時代に  
次世代につながる新たな価値創造の発信

《中川運河再生による新基軸形成の起点となる考え方》

- 中川運河の広大な水辺を活かしたグリーンインフラ整備
- 既存インフラ・施設の再構築・利活用による  
多様な価値創造につながるリノベーション
- 名古屋駅～名古屋港を縦軸とした  
多様なモビリティのネットワークによる賑わいの創出

## 5. 中川運河再生構想JAPIC案

### (2) JAPICが提唱する中川運河再生構想

～名古屋都心部を連なる中川運河の水辺空間再生から  
新たな幕開けとなる南北の新基軸形成を創出する～

#### ①水と緑の回廊空間 ～アクアグリーンベルト～

緑豊かな水辺環境を楽しむ質感ある沿岸形成

(市街地の画一的なビジネスビル群から水辺に触れ合う豊かな環境創出)

#### ②新旧が融合する職住遊環境 ～ライフスタイルリノベーション～

運河沿岸施設のリノベーションから

文化・芸術と新しい生活スタイルが融合した沿岸形成

(産業構造の変容、ウイズコロナ・ポストコロナ、防災を意識したまちづくり)

#### ③地理的特性を活かした交通環境 ～チャンネルモビリティネットワーク～

水上交通・鉄道を基軸とした環境に優しく利便性に富んだ

拠点を結ぶモビリティネットワークの整備

(名古屋駅～ささしまライブ24～運河周辺の拠点施設計画・整備～名古屋港の連携連担)

## 5. 中川運河再生構想JAPIC案

《再生構想体系》 ～中川運河から水辺空間による新基軸形成～



# ①水と緑の回廊空間 ~アクアグリーンベルト~

緑豊かな水辺環境を楽しむ質感ある沿岸形成  
(沿岸全域プロムナードの整備)



## ②新旧が融合する職住遊環境 ～ライフスタイルリノベーション～

運河沿岸施設のリノベーションから

文化・芸術の交流を育む豊かな水辺景観の創出



## ②新旧が融合する職住遊環境 ～ライフスタイルリノベーション～

運河沿岸施設のリノベーションから  
開放感ある水辺空間を親しむ新たなライフスタイル



# 5. 中川運河再生構想JAPIC案

## ③地理的特性を活かした交通環境 ～チャンネルモビリティネットワーク～

### 中川運河周辺域へのアクセス整備

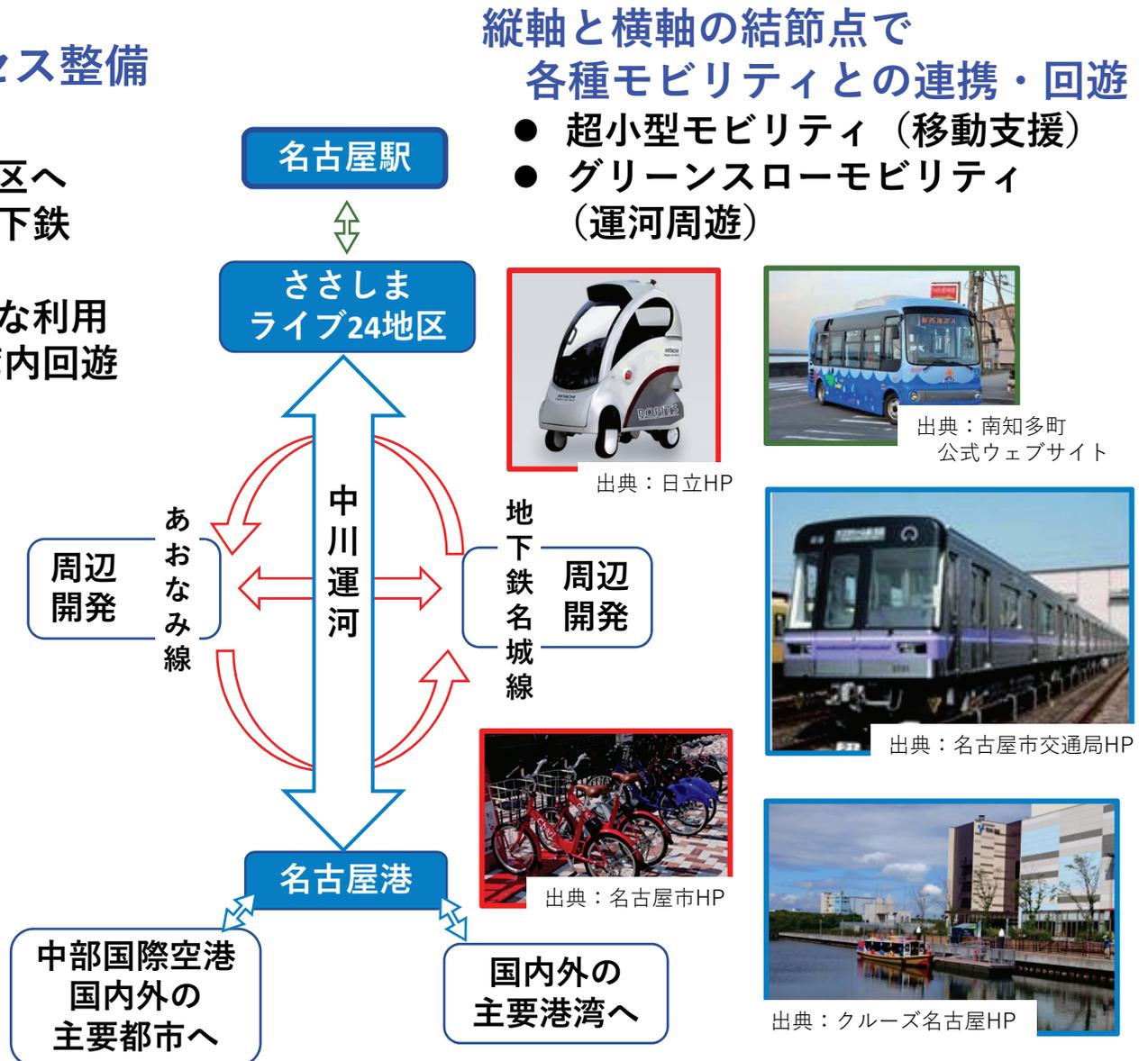
- **拠点名古屋駅とのアクセス：**  
ささしまライブ24地区へ
- **横軸の整備：**あおなみ線、地下鉄  
へのアクセス
- **縦軸の充実：**水上交通の多様な利用  
通勤・通学、湾内回遊



出典：名古屋臨海高速鉄道(株)HP



出典：クルーズ名古屋HP



## 6. 今後の事業展開のために

次世代が求める新しい時代のエリア整備に向けて  
魅力的な中川運河再生を加速化させる着火剤に

### (1) 世界運河会議(名古屋2020)を起点とした参入機運の醸成

#### ①民産学官の連携から事業を動かすきっかけ作り【官民連携】

→ まちづくり協議会・まちづくり会社等の設立支援

(着火剤として官による立上げから民間企業・地域住民の波及・参加へ)

#### ②積極的な広報活動【官民連携】

→ 世界運河会議(2021.5.21~23)をきっかけに

様々な媒体を活用した広報活動・広報拠点の整備

#### ③地域住民を魅了する運河沿岸整備の発信と機運醸成 【官民連携】

→ 名古屋駅~ささしまライブへのアクセス導線整備

→ 憩いの場としてのガーデンふ頭再開発計画の推進

→ 名古屋駅~中川運河~名古屋港でのデザインコード

## 6. 今後の事業展開のために

### (2) 中川運河再生事業推進に向けた都市計画上の展開

#### ① 中川運河再生事業へ参入しやすい環境づくり【官公庁主体】

→ 国家戦略特区の活用、用途地域指定の変更

例) ・ ZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)

・ LCCH(ライフサイクルカーボンハウス)整備の優遇特区

→ 特区利用等におけるPPP・PFIの活用

(官による水辺拠点の整備から周辺地区の土地利用開放によるSPC設立)

#### ② 良好な水辺環境が生み出す魅力増大【官公庁主体】

→ 水質改善・プロムナード整備・緑地化によるより身近な水辺環境の創出

→ 松重閘門をはじめとする既存施設を活かした歴史文化芸術の支援

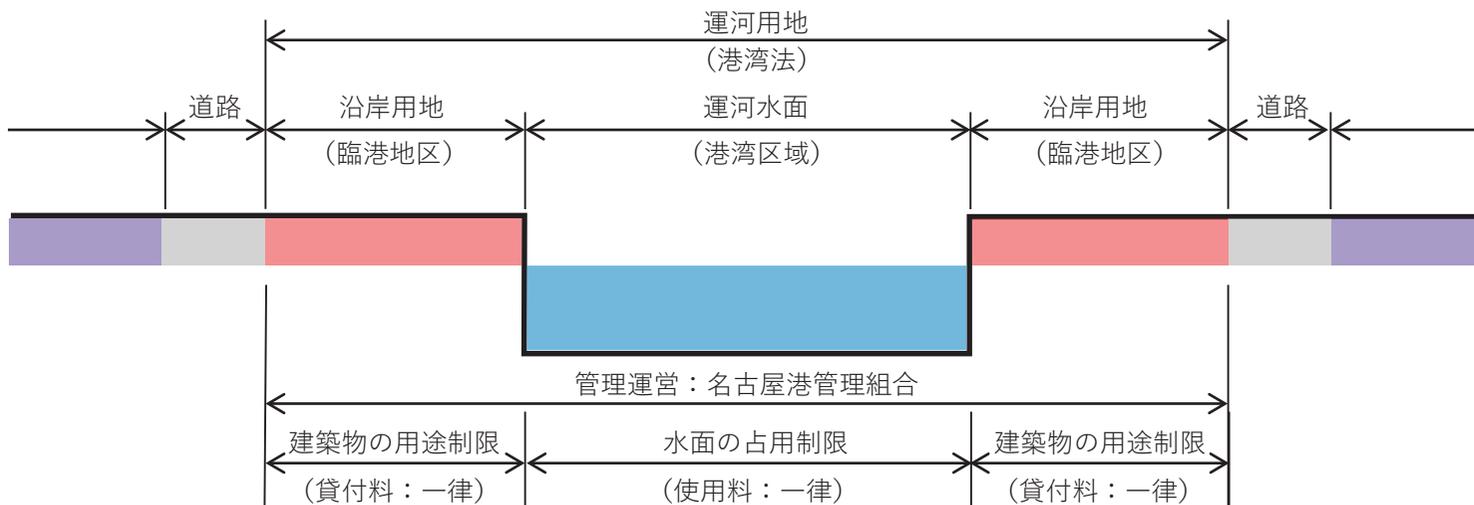
## 6. 今後の事業展開のために

### (3) 規制緩和と税制優遇によるハード整備支援

#### ①臨港地区整備での空間付加価値増大への規制・優遇 (性能規定\_環境・脱炭素・景観・防災等) 【官民連携】

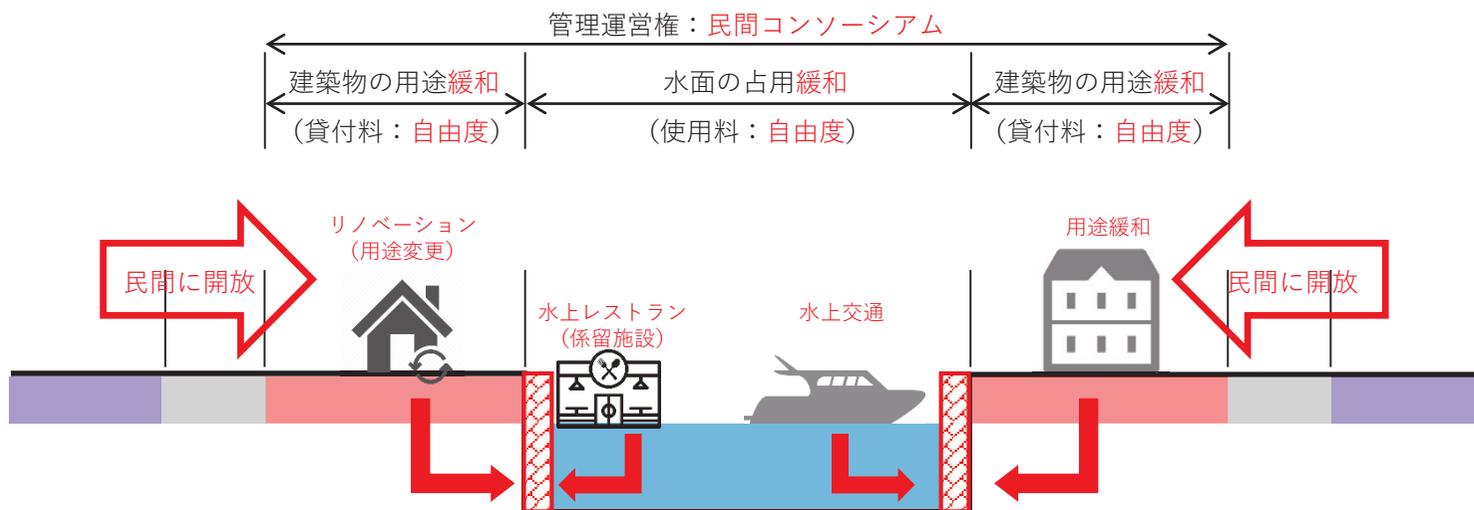
- 3次元空間価値創出型事業の優遇や規制  
例) 臨港地区内の土地をグリーンベルト化した整備に対し  
容積率割増・用途緩和等のボーナス付与
- グリーンインフラ整備による補助  
例) 既存施設の資材活用や壁面緑化に対する優遇・補助制度
- 次世代へ継承可能な公共的用途に対する固定資産税の減免  
例) 条件を満たす民間施設 (例えば、船着場・1階の防潮扉整備等)  
=公共インフラ投資に値するものとして評価
- 多様な世代交流のための支援  
例) 新婚・子育て世代への家賃・住宅購入補助  
文化醸成としての若手芸術家へのギャラリー (倉庫) 提供支援

# 6. 今後の事業展開のために



## 公民連携による 事業イメージ

### 規制緩和 (特区等)、PPP/PFI (公民連携事業)



規制緩和による収益 (or貸付料増等) の一部を新護岸整備費に充当

## 6. 今後の事業展開のために

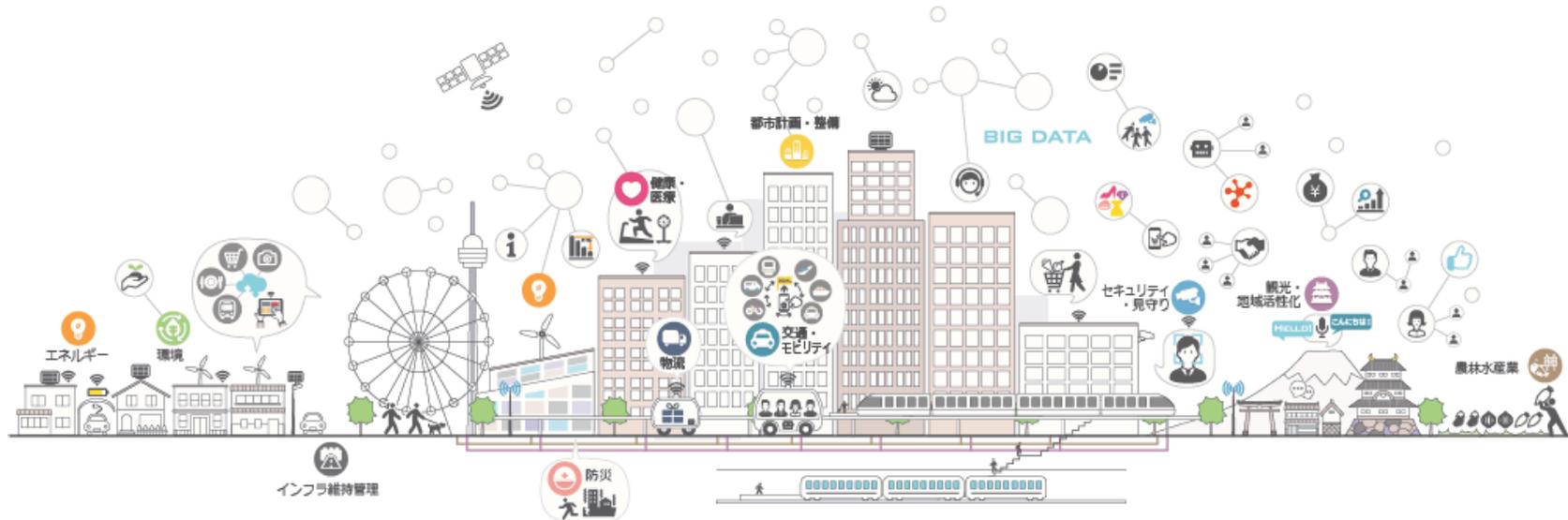
### (4) 中長期的な事業推進のために取り組み

#### ①水辺地区開発に合わせたより一層の魅力増大【官民連携】

→ 地域モビリティを活かしたスマートシティの実現

#### ②多世代・多価値交流空間形成【官公庁主体】

→ レジリエントで満足感の高いコミュニティ創生



## 7. 将来構想

### 中川運河再生構想からスマート・キャナルタウン形成へ

#### ◆ カーボンニュートラルへの展開

- ZEH、LCCM住宅、水上交通の電気・水素動力化 等

#### ◆ スマートモビリティへの展開

- 自動走行システムも含めた様々なモビリティの連携または活用による中川運河と周辺域への快適な移動システムの整備
- 中川運河の空中域を活用したエアモビリティ  
名古屋駅～名古屋港～中部国際空港を結ぶ新システム  
(空飛ぶ自動車) 等

#### ◆ 新たな生活スタイルへの展開

シェアオフィス・シェア物流

3D都市モデルによるバリアフリー等の地域・観光情報の見える化 等

## 8. 世界運河会議を終えて

### 世界運河会議 名古屋2020

開催：2021 5/21～5/23

世界運河会議NAGOYA2020は、中川運河の再生を柱に開催され、世界の様々な運河や都市整備デザイナーが集い大きな反響を呼んだ。

JAPICは、オープニングディスカッションとしてシンポジウムを開催し、世界運河会議の最終提言に私たちが発信した提言が反映された。



名誉実行委員長：水野明久

実行委員長：奥野信宏

アドバイザー：陣内秀信、トム・ヘネガン

### <提言>世界運河会議ナゴヤ 2020 名古屋の水辺への提言からの抜粋

まずJAPICから提案されたアクアグリーンベルト（水と緑の回廊空間）、ライフスタイルイノベーション（新旧が融合する職住遊環境）、チャンネルモビリティネットワーク（地理的特性を活かした交通環境）はいずれも実現可能であり、賞賛に値するものであり、進めては如何かと考える。そして新型コロナのような社会的危機を乗り切る諸方策、民間整備に対する優遇策も進めなければならない。



## 【中川運河水辺地区再生構想】 検討者名簿

※敬称略

### チームリーダー

松田 寛志 (日本工営(株) 常務執行役員)

### サブリーダー

今井 稔 ((一社)建設コンサルタンツ協会 インフラストラクチャー研究所 研究部長)

### メンバー

(50音順)

雨宮 克也 (三井不動産(株) 開発企画部 環境創造グループ グループ長)

小野 哲男 ((株)熊谷組 執行役員 土木事業本部 副本部長)

河合 康之 ((株)三菱地所設計 エグゼクティブアドバイザー)

高橋 健太郎 ((株)熊谷組 土木事業本部 営業部 部長)

林 良嗣 (中部大学 卓越教授)

藤井 健 (首都高速道路(株) 代表取締役専務執行役員)

松尾 直規 (中部大学 名誉教授)

丸山 隆英 (前:(一財)みなと総研 専務理事 現:東亜建設工業(株) 執行役員常務)

～ JAPIC 国土・未来プロジェクト研究会 委員名簿 (敬称略) ～

	氏名	団体名	役職
最高顧問	中村 英夫	(一社)日本プロジェクト産業協議会	副会長/東京都市大学 名誉総長
委員長	藤本 貴也	パシフィックコンサルタンツ(株)	特別顧問
委員	阿部 義典	国際航業(株)	インフラマネジメント事業部 道路計画担当部長
	雨宮 克也	三井不動産(株)	開発企画部 環境創造グループグループ長
	荒井 清	東亜建設工業(株)	土木事業本部 プロジェクト部長
	荒木 千博	(株)建設技術研究所	東京本社 河川部長
	有田 淳	前田建設工業(株)	土木事業本部 営業第1部副部長
	安齊 孝仁	(一社)日本プロジェクト産業協議会	顧問
	安藤 聡穂	(株)IHI	社会基盤・海洋事業領域グローバルビジネス推進部 部長
	飯尾 昌和	(株)日本港湾コンサルタント	計画本部 専任部長
	石坂 久志	(株)復建エンジニアリング	事業本部 副本部長
	石崎 晶子	パシフィックコンサルタンツ(株)	経営戦略室 チーフプロジェクトマネージャー
	石田 有三	大成建設(株)	土木営業本部 開発営業部 営業担当部長
	石村 佳之	(株)オリエンタルコンサルタンツ	関東支社 道路部長
	一色 真人	西松建設(株)	代表取締役 執行役員 副社長
	乾 靖	(株)竹中工務店	まちづくり戦略室 専門役
	今井 敬一	(株)建設技術研究所	国土文化研究所 次長
	今井 稔	(一社)建設コンサルタンツ協会	インフラストラクチャー研究所 研究部長
	岩野 政浩	大成建設(株)	理事 土木本部 土木企画部長
	上西 泰輔	(株)大林組	東京本店 土木事業部 営業部長
	太田 昌彦	日本製鉄(株)	プロジェクト開発部長
	大野 昌幸	清水建設(株)	営業総本部 土木営業本部 営業部 部長
	大村 哲夫	(株)日本港湾コンサルタント	取締役会長
	岡本 俊彦	大成建設(株)	土木本部 土木企画部 戦略計画室 部長代理
	岡山 誠	鹿島建設(株)	土木管理本部 土木工務部 ダムグループ担当部長
	越智 修	五洋建設(株)	専務執行役員 土木部門担当
	越智 繁雄	大成建設(株)	執行役員
	小野 哲男	(株)熊谷組	執行役員 土木事業本部 副本部長
	加藤 孝明	東京大学	生産研究所 教授/社会科学研究所 特任教授
	門脇 直哉	日鉄物産(株)	プロジェクト開発部長
	神尾 哲也	戸田建設(株)	常務執行役員 土木営業統轄部長
	河合 康之	(株)三菱地所設計	エグゼクティブアドバイザー
	川口 英俊	東京都市大学	都市生活学部 教授
	川嶋 憲	(株)日本港湾コンサルタント	執行役員
	菅藤 学	(株)ドーコン	東日本事業本部 東京支店 事業部長
	菊地 史春	日鉄興和不動産(株)	企業不動産開発本部 九州支店長
清原 亮	(株)安藤・間	営業本部 営業第一部 営業グループ課長	
栗栖 寛	(株)浅沼組	土木事業本部 技術設計第2グループ グループリーダー	
黒川 純一良	(公社)日本河川協会	専務理事	
桑原 茂雄	(株)浅沼組	執行役員 戦略事業推進部 部長	
小坂 彰洋	東京地下鉄(株)	常務取締役	
五味 宗雄	(株)安藤・間	取締役副社長	
今野 水己	(株)三菱総合研究所	西日本営業本部 特命リーダー	
斉藤 親	(一社)日本プロジェクト産業協議会	顧問	
酒井 哲夫	(株)ドーコン	東日本事業本部 次長	
佐々木 雅幸	東急建設(株)	常務執行役員 土木事業本部 副本部長	
佐野 忍	鹿島建設(株)	土木管理本部 プロジェクト推進部 プロジェクト推進部長	
塩崎 正孝	(株)IHI	顧問	
清水 英範	(公社)日本測量協会	会長	
清水 雄	(株)オオバ	常務取締役 執行役員 営業本部長	
下長 右二	パシフィックコンサルタンツ(株)	執行役員 社会イノベーション事業本部長	
白木原 隆雄	(一社)計画・交通研究会	理事・事務局長	

	氏名	団体名	役職
	白水 靖郎	中央復建コンサルタンツ(株)	常務取締役 経営企画本部長
	杉原 克郎	(株)エスシー・マシーナリ	代表取締役社長
	関 克己	(公財)河川財団	理事長
	高木 博康	(株)オリエンタルコンサルタンツ	関東支社 道路部 副部長
	高橋 明	(株)日本政策投資銀行	地域調査部長
	高橋 健太郎	(株)熊谷組	土木事業本部 営業部 部長
	竹澤 正太郎	前田建設工業(株)	土木事業本部 副部長
	田代 裕一	パシフィックコンサルタンツ(株)	社会イノベーション事業本部 交通政策部 都市マネジメント室
	龍田 昌毅	日鉄物産(株)	プロジェクト開発部 担当部長
	谷山 喜彦	日鉄興和不動産(株)	開発企画本部 担当部長
	角田 光男	(一社)共同通信社	社友
	土井 一生	(株)みずほ銀行	社会・産業基盤イダストリーグループ長付参事役
	飛田 茂美	(一社)不動産協会	前 事務局長代理
	長澤 光太郎	(株)三菱総合研究所	専務執行役員 シンクタンク部門長
	永重 雅守	前田建設工業(株)	常務執行役員 土木事業本部 副本部長
	中嶋 さやか	五洋建設(株)	ICT 推進室 BIM/CIMグループ 担当課長
	中矢 昌希	中央復建コンサルタンツ(株)	総合技術本部 社会インフラマネジメントセンター 都市開発プロジェクト チーフマネージャー
	奈良 照一	(株)ドーコン	交通事業本部 交通部長
	栖館 学	日本シビックコンサルタント(株)	地下施設技術部 部長代理
	栖原 圭紘	パシフィックコンサルタンツ(株)	プロジェクト統括部 ビジネスインキュベーション室
	南光 繁	日本製鉄(株)	プロジェクト開発部 プロジェクト開発室 上席主幹
	仁賀木 康之	復建エンジニアリング(株)	事業推進部 部長
	服部 唯之	(株)ドーコン	東京支店 支店長
	林 敦	(株)みずほ銀行	執行理事 社会・産業基盤第二部長
	林 良嗣	中部大学	卓越教授
委員	深澤 淳志	(一財)日本建設情報総合センター	理事長
	藤井 健	首都高速道路(株)	代表取締役 専務執行役員
	堀江 弘和	(公財)名古屋まちづくり公社	名古屋都市センター事業部長
	正岡 和繁	日本シビックコンサルタント(株)	地下施設技術部 グループ長
	町村 俊彰	前田建設工業(株)	土木事業本部 営業第1部長
	松尾 直規	中部大学	名誉教授
	松崎 成伸	戸田建設(株)	本社土木営業第一部 課長
	松田 寛志	日本工営(株)	常務執行役員
	松谷 春敏	(株)IHI	顧問
	松友 登	西松建設(株)	執行役員 土木事業本部 副本部長
	松本 伸	(株)大林組	常務執行役員 土木本部 生産技術本部長
	丸岡 裕人	日鉄防食(株)	取締役企画管理部長 安全環境・品質統括部長
	丸山 隆英	東亜建設工業(株)	執行役員 常務
	水口 倫太郎	あおみ建設(株)	経営企画室長
	水谷 誠	(一社)日本建設業連合会	常務執行役員
	見附 敬三	(株)建設技術研究所	管理本部 副本部長
	三輪 恭之	森ビル都市企画(株)	事業企画部 部長補佐
	村尾 公一	東京都市大学	特任教授
	村田 浩隆	五洋建設(株)	横浜営業支店 支店長
	森山 真稔	(一社)建設コンサルタンツ協会	インフラストラクチャー研究所 研究員
	山崎 隆司	(株)JR東日本クロスステーション	常勤監査役
	山崎 智之	(株)日本政策投資銀行	都市開発部 次長
	吉川 正嗣	(株)建設技術研究所	顧問
	吉崎 収	(株)大林組	執行役員 土木本部 副本部長
	利穂 吉彦	鹿島建設(株)	常務執行役員 技術研究所長
	渡邊 恵一	東亜建設工業(株)	土木事業本部 プロジェクト部 担当部長

	氏名	団体名	役職
アドバイザー	浦田 秀樹	日本製鉄(株)	プロジェクト開発部 プロジェクト開発室長
	江守 昌弘	(株)建設技術研究所	常務執行役員 東京本社 副本社長
	金山 洋一	富山大学	都市デザイン学部都市・交通デザイン学科 教授
	木村 敬一	日鉄物産(株)	プロジェクト開発部 担当部長
	栗田 悟	(一社)北海道建設業協会	副会長
	酒井 芳一	(一社)建設コンサルタンツ協会	インフラストラクチャー研究会 事務局長
	長南 政宏	(株)建設技術研究所	東京本社都市部 PFI・PPP室 室長
	長谷川 専	(株)三菱総合研究所	営業本部 インダストリーマネージャー (スマートシティ担当)
	林 栄明	国際航業(株)	公共コンサルタント事業部 事業管理部 部長
吉川 大三	(株)安藤・間	営業本部 顧問	
事務局	丸川 裕之	(一社)日本プロジェクト産業協議会	専務理事・事務局長
	三浦 潔司	(一社)日本プロジェクト産業協議会	常務理事・事業企画部長
	箱田 泰史	(一社)日本プロジェクト産業協議会	元 事業企画部 部長(現 鹿島建設(株))
	齋藤 彰	(一社)日本プロジェクト産業協議会	事業企画部 部長
	久保田 勝朗	(一社)日本プロジェクト産業協議会	事業企画部 部長
	中川 雄一	(一社)日本プロジェクト産業協議会	事業企画部 部長

国土造りプロジェクト構想6  
～安全・快適で豊かな国土造りのために～

【中川運河水辺地区再生構想】  
～静謐な水辺空間を持つ気品と賑わいの新基軸に～

---

一般社団法人 日本プロジェクト産業協議会 (JAPIC)

発 行 2022年3月9日

発 行 所 一般社団法人 日本プロジェクト産業協議会  
〒103-0025

東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館 6F

編集・印刷 株式会社 大應

©Japan Project-Industry Council 2022, Printed in Japan

